

令和3年度第1回 福生市安全安心まちづくり協議会 会議録要旨

日時	令和3年10月4日(月)午後1時30分～午後2時40分
場所	福生市役所第1棟2階会議室
出席者	<p><b>【委員等】</b>          小池委員、西村委員、青海委員、木村委員、玉越委員、塩野委員、細谷委員、山田委員、下田委員、竹田委員、樋口委員、関根委員、赤崎委員、小川総務部長、吉野子ども家庭部長、中岡教育部長、内出管理・交通安全対策グループ主査</p> <p><b>【事務局】</b>          原田防災危機管理課長、森田防災危機管理課長補佐、住友防災危機管理係主任</p>
欠席者	大石委員
議題	1 第5次福生市安全安心まちづくり推進計画について(諮問) 2 その他
配布資料	1 第5次福生市安全安心まちづくり推進計画について(諮問) 2 第4次福生市安全安心まちづくり推進計画の振り返りについて 3 犯罪発生状況等に関する資料 4 火災発生状況等に関する資料
会議内容	1 会長及び副会長の互選 会長 小池委員 副会長 西村委員 副会長 青海委員 2 委嘱状交付 加藤市長から委員一人ひとりに委嘱状交付 3 市長挨拶 4 会長挨拶 5 市長より諮問

6 令和3年度第1回 福生市安全安心まちづくり協議会の開催

(1) 第5次福生市安全安心まちづくり推進計画について（諮問）

【第5次計画について】

（事務局）

- 福生市安全安心まちづくり推進計画は、平成21年4月に施行された福生市安全安心まちづくり条例に基づき安全安心なまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため策定した。計画は3年ごとに見直すこととなっており、第4次推進計画の期間が令和3年度末までとなることから、第5次推進計画を策定する。
- 第4次計画では、数値目標として市内の刑法犯認知件数を400件及び特殊詐欺被害件数を4件とすることと設定した。令和2年の刑法犯認知件数は300件となり、目標値400件を大幅に下回り、平成29年の現状値455件から155件、34.1%減少し目標を達成している。  
また、令和2年の特殊詐欺被害認知件数は5件となり、目標値4件を1件上回ったが、平成29年の現状値10件から5件、50%減少した。
- 第5次計画については、第3 犯罪等の現状では、東京都及び福生市における犯罪の現状を示している。刑法犯認知件数は、年々減少傾向にあり、令和2年は都内においてはピーク時の約27%、市内においてもピーク時の約20%となった。特殊詐欺被害状況は、令和2年は都内及び市内ともに被害認知件数、被害額が前年に比べ減少したが、いまだに多くの被害が発生している。不審者情報については、子どもの防犯対策は市や地域、関係機関等が連携して取り組む必要があることから、市内における不審者情報配信件数を掲載する。

第4 防犯対策の課題では、これまでの取組や

犯罪発生状況を踏まえ、防犯対策を行うに当たっての課題を挙げている。

第5 計画の目標と基本方針では、計画の目標は「安全で安心して暮らすことができる福生市の実現」とし、計画期間は、令和4年度から令和6年度までの3年間とする。数値目標として、刑法犯認知件数は、計画期間の3年間の平均件数を255件、令和2年300件から15%減少とし、特殊詐欺被害認知件数は計画期間の3年間の平均件数を3件、令和2年5件から40%減少とし、4つの方針のもと各項目について取り組む。

第6 計画の推進では、市、市民、事業者の役割を示し、具体的な推進項目について内容と推進主体を明確にした。

計画策定に当たっての今後のスケジュールは、皆様の御意見を基に修正し、令和3年12月議会において議会へ報告する。令和4年1月にパブリックコメントを行い、その結果をもとに最終案を作成し、令和4年2月に第2回福生市安全安心まちづくり協議会を開催して委員の皆様にご審議いただきたいと考えている。御審議いただいた後、市長へ答申したいと考えている。委員の皆様には改めて資料1を御確認いただき、御意見等があれば10月25日月曜日までに意見書の御提出をお願いしたい。

## (2) その他

### 【犯罪発生状況等について】

(福生警察署木村生活安全課長)

- 令和2年の犯罪発生状況について、福生警察署管内の刑法犯認知件数は1,038件で前年比-241件、福生市内は300件で前年比-131件となった。

身近な犯罪では、市内の自転車盗が68件で前年比-59件、万引きが27件で前年比-53件となった。

福生警察署管内の特殊詐欺被害状況は、被害認知件数は22件で前年比-16件、被害額は約3,660万円となっ

た。福生市内の被害認知件数は5件、被害額は約740万円となった。

- 最近の特殊詐欺の手口としては、警察官や市役所職員、銀行員をかたり、あらかじめキャッシュカードの暗証番号を聞き出して直接カードを取りに来る手口や、親族をかたり、現金を取りに来るもので、振り込ませる手口よりも直接取りに来る手口が増えている。そういった手口はまず予兆電話が掛かってくるため、市内に集中して入電するとパトカーや警察官を派遣したり、自治体の防災行政無線を活用したりして注意喚起している。
- 犯罪抑止には防犯カメラの設置が重要であり、今後も通学路点検の実施等により危険箇所を見つけたり各種取扱いを通じて防犯カメラを設置したほうが良さそうな場所を把握したりして、防犯カメラの設置や更新等を御検討いただければと思う。

10月11日から20日まで全国地域安全運動が実施され、各種取組を様々な関係機関にお願いして実施する。ぜひ御協力をお願いしたい。

#### 【火災の発生状況等について】

(福生消防署玉越警防課長)

- 市内の火災等の発生状況について、令和2年は15件、令和3年は9月25日現在で19件となっている。コロナ禍で在宅時間が増えたことによる生活様式の変化が影響しているのではないかと思う。

また、火災件数だけではなく焼損床面積も増加しており、部屋の中にたくさんの物があることも要因の一つのため、整理整頓に気をつけていただきたい。

令和3年9月25日現在の市内の火災の原因については、電気関係やガス器具、たばこ等となっており、このあたりは前年比微増だが、放火(その疑い)については前年比+9件となっている。火の扱いには十分に気をつけていただきたい。

令和3年9月25日現在の市内の救急件数については、前年比-49件となっている。

11月に秋の火災予防運動を実施し、家庭で気をつけて  
いただきたいところを広報していくので、防災・防火に  
御協力いただきたい。

**【質疑応答】**

(委員)

- 特殊詐欺について、聞く話では、目の前でキャッシュ  
カードに切り込みを入れる手口やコンビニなどで電子  
マネーを購入させる手口があるようで、電子マネーは店  
員が気付いて被害を未然に防ぐことがあるようだが、こ  
のあたりに多い特殊詐欺の手口はどのようなものか。

また、詐欺の犯人に話を合わせてだまされた振りをして  
犯人を捕まえようとすることもあるようだが、このあ  
たりでも実施されているのか。

(福生警察署木村生活安全課長)

- 特殊詐欺の手口としては、まず在宅かどうか確認する  
予兆電話が入電し、それに対応してしまうと次のアクシ  
ョンにつながるものが多い。予兆電話が入電すると警察  
署に問い合わせる方が増えているが、対策をせずにだま  
されてしまう人もいる。だまされてしまった場合は個別  
に防犯指導している。管内のコンビニで電子マネーを購  
入しようとするお客様に購入理由を尋ね不審に思った  
店員が気付いて被害を未然に防いだことがあった。管内  
のコンビニ店には定期的に特殊詐欺の最新の手口につ  
いて情報提供している。今後も新しい手口が出てきたら  
その都度情報提供していきたい。防犯のため管内の予兆  
電話の入電状況や犯罪発生状況を配信している「メール  
けいしちょう」の普及を進めていきたい。

(委員)

- 管内での指定重点犯罪について、外国籍の方が関与し  
ている場合はあるのか。

(福生警察署木村生活安全課長)

- 資料を持ち合わせていないため回答が難しいが、110  
番通報の中には外国籍の方に関する通報もあり、その内

容の多くは騒音である。

(委員)

- 小中学生の犯罪への関与について伺いたい。特殊詐欺に関与する子どもの低年齢化について福生市内の状況はどうか。

(福生警察署木村生活安全課長)

- 特殊詐欺への青少年の関わりについて、ここ最近では市内の子どもが関与したという情報は聞いていない。青少年に関わる 110 番通報で多いのは、騒音（集団で騒ぐ声やスケボーの音など）や万引きである。万引きについては、被害届を出すように各店舗に指導している。

(委員)

- 福生市ではないが、中高生と思われる子どもがスーツを着てATMで電話のやり取りをする様子を目撃したことがある。そのような場面を目撃した際は、すぐに 110 番通報したほうがいいのかお店からしてもらったほうがいいのか、対応の仕方を教えていただきたい。

(福生警察署木村生活安全課長)

- 管内のコンビニには、不審だと感じたらすぐに 110 番通報してほしいとお願いしているため、店舗にお願いしていただきたい。それ以外の場合は直接 110 番通報する方が早いため、できればすぐに 110 番通報してほしい。

(委員)

- 犯罪発生件数における再犯の割合はどの程度か。

(福生警察署木村生活安全課長)

- 資料を持ち合わせていないため回答が難しいが、全く無いわけではなく、再犯のケースもあると思う。再犯の傾向が高い犯罪もあるため、引き続き再犯防止を踏まえ活動する必要があると思う。

(委員)

- 熊川駅付近で踏切を挟んで五差路になっている場所

があり、ウインカーを出さずに右左折する車が多く危険を感じている。福生第一中学校と福生第二小学校の通学路になっているので心配である。

(福生警察署木村生活安全課長)

- 通学路の関係は警察署では交通課と生活安全課が合同で、市役所と連携して様々な地点を見ながら危険箇所や交通上支障がないか順次パトロールを実施している。この情報も追加して改善できるのであれば交通課に確認して情報提供する。通学路の中で交通安全上危ないところや防犯上危ない建物等をよく見ながら市と協力して点検したい。

(中岡教育部長)

- 通学路点検は現在実施しており、八街市の交通事故を受けて通常より早めに対応している。福生警察署の交通課と生活安全課、教育総務課、市道路管理者、各学校長、PTA で実施している。福生第二小学校は点検が終わったところだが、対応が可能であれば関係部署に協力を仰ぎ、児童生徒にも指導していきたい。今後もお気づきの点があれば教えていただきたい。

#### 【福生市防犯講習会について】

(事務局)

- 昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため防犯講習会の開催を中止したが、令和3年度についても同様の理由から開催の中止を提案したい。

(委員)

- 警察や消防に関する動画の配信など、スマートフォンなどを使ってたくさんの方が多角的に見られるようにしてはどうか。今年は難しいかもしれないが、今後できるようであればと思い提案する。

(事務局)

- 関係機関に相談して検討させていただき、実施する際は委員の皆様へ報告する。

	【閉会】
--	------